

令和7年度

事業報告書

(1)長寿科学研究者支援事業 222,137,000円 / 123,461,418円

(1)-1.長生きを喜べる長寿社会実現研究支援 35,394,000円 / 35,123,900円

令和7年度採択プロジェクト

実装研究(3年間の1年目)

エビデンスに基づく認知症予防プログラムの社会実装

～高齢者のQOL向上と持続可能なコミュニティ支援の確立～

J-MINT のエビデンスに基づいた実装版認知症予防プログラムを通じて、高齢者のQOL・認知機能を向上させる。プログラムが地域コミュニティに根付くための持続可能な運営体制を構築し、地域全体の健康と福祉を改善させるとともに、認知症の社会的コストの削減を目指します。

■プロジェクト代表者:櫻井 孝 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所長)

■助成額:30,000,000円/90,000,000円

■中間報告会開催(第3回審査評価委員会):10月7日(火)

■継続審査会(令和8年4月2日開催)2年目の継続承認

■進捗管理委託:株式会社日光アカデミー 進捗管理ソフト:バックログ使用

令和8年度助成プロジェクト

-令和7年度採択(令和8年度助成)事業-

公募要領公開:令和7年5月1日 応募締切:7月31日

応募状況 総数:22件(大学15件 研究機関4件 企業2件 学会1件)

- ① 書面審査 審査評価委員による書面評価を実施(8月中旬～9月上旬)
- ② 第1次審査会(10月2日)書面審査結果をもとに、22件から 3件を選定
- ③ 第2次審査会(10月23日)3件によるプレゼン・質疑審査を実施し、最終候補を選定
- ④ 理事会報告 採択候補案件について理事会へ報告
- ⑤ 最終審査会(11月27日)厳正な審査により、1件の採択候補とした
- ⑥ 理事会承認(3月9日)承認後契約 令和8年4月1日 プロジェクト開始

採択 社会的処方に対応できる伝統宗教施設

(寺社・教会等の協力による長寿社会実現のための地域支援研究)

伝統的な寺社・教会等の協力により地域の福祉資源として活用し、高齢者の健康長寿を支える社会実装研究。既存の寺院や教会が持つコミュニティ機能を活かし、誤嚥予防のための読経プログラムや、孤立を防ぐ介護者カフェなどの具体的な活動を全国の寺院へ展開することを目指しています。研究の柱は、布教活動と社会貢献を明確に分離する運営マニュアルの作成や、医学的知見に基づいた効果測定の実施にあります。専門機関と連携しながら、公的資金に頼りすぎない持続可能な地域包括ケアシステムの新たなモデルを構築する。

■プロジェクト代表者:枝広 あや子(東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長)

■助成額:20,000,000円(実装研究・2年間予定)

長寿科学研究者支援事業 審査評価委員会 委員

委員長	駒村 康平	慶應義塾大学経済学部 教授
副委員長	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
委員	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター 理事長 兼 センター長
委員	阿久津 靖子	一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事
委員	鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所代表理事・研究所長
委員	近藤 克則	千葉大学 予防医学センター健康まちづくり共同研究部門 特任教授 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部長 京都大学 成長戦略本部 特任教授
委員	佐藤 久恵	学校法人国際基督教大学 評議員
委員	長谷川 友紀	東邦大学医学部 教授

(1)-2.高齢社会課題解決研究および社会実装活動への助成(Google寄附事業1)

25,950,000円 / 25,948,547円

■最終報告会の開催:令和7年6月27日(金) 第34回日本老年学会総会(千葉県幕張)

■機関誌エイジングアンドヘルスへの掲載、研究報告広報活動

■成果発表への助成:

健康長寿のためのデジタルヘルスコンソーシアム設立記念シンポジウム開催

10月30日(木) コングレスクエア日本橋

■1月30日(金) Googleへ最終決算報告完了

(1)-3.高齢社会課題解決研究(AI)への助成

(Google寄附事業2)

160,793,000円 / 62,388,971円

■令和7年9月12日 Google採択発表 公募開始

■超高齢社会における人工知能(AI)による変革の可能性を活用するための、3つの課題

課題①高齢者向けAIリテラシーの向上 (1.4億円/2年間)

課題②世代間学習の促進 (1.0億円/2年間)

課題③超高齢者社会に役立つAIロボティクス開発における若者の支援(1.9億円/2年間)

※財団事務局は助成金の全体的なモニタリングと評価の調整を行います。(6,500万円/2年間)

■11月24日まで公募 書類審査(12月12日) プレゼンテーション最終審査(12月24日)

課題①②について条件付候補として再審査(2月18日) その後採択に至る

Google寄附事業2採択分

- 課題①応募12件(大学8 研究機関2 企業2)
【高齢者のAI・ロボット親和性を醸成する共創型AIリテラシー教育モデルの開発と全国実装に関する研究】 加藤 健治 (国立長寿医療研究センター)
- 課題②応募6件(大学5 研究機関1)
【iCoRP: 世代間共創ラピッドプロトタイピング【世代間学習を活用した人間中心AI設計の実践】
梶田 尚亨(くにぎた ひさゆき) (情報経営イノベーション専門職大学)
- 課題③超高齢者社会に役立つAIロボティクス開発における若者の支援
支援イベント・放送等に係る委託業務プロポーザル 3社 (12月25日 小委員会③)

株式会社NHKエンタープライズと契約

高等専門学校生、大学生、大学校、大学院生
(修士課程まで)を対象とした

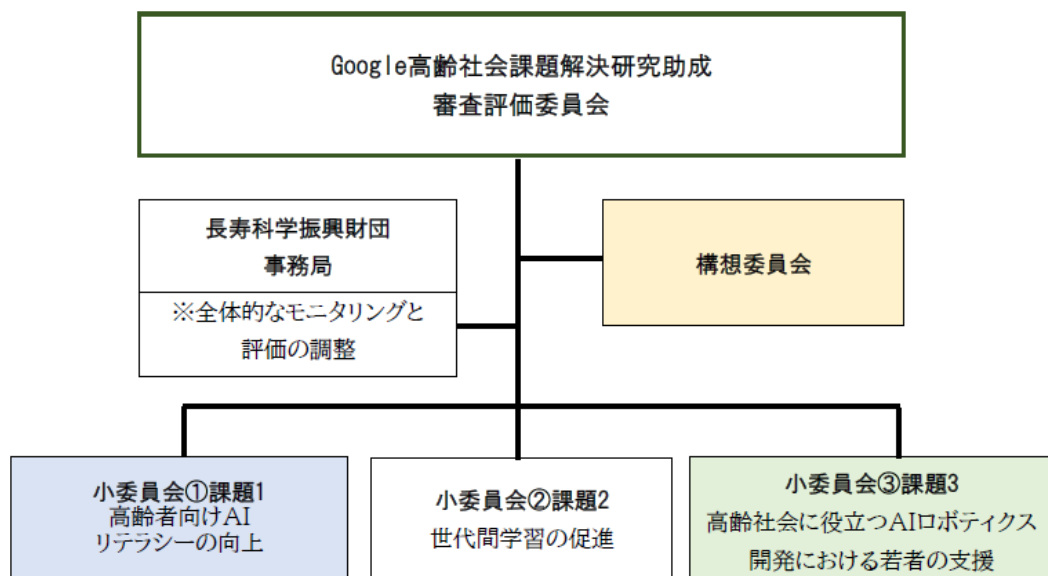
Challenge ATOM

～フィジカル AI プロジェクト～

〈後援〉一般社団法人 全国高等専門学校連合会
一般社団法人 公立大学協会
一般社団法人 日本ディープラーニング協会
一般社団法人 人工知能学会
一般社団法人 日本機械学会
株式会社 手塚プロダクション



Google寄附事業 体制図



高齢社会課題解決(AI) 関連委員名簿 (Google寄附事業2)

氏名	所属	委員会	構想委員会	小委員会
荒井 秀典	国立長寿医療研究センター理事長	委員長	委員長	
秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター理事長	副委員長	委員	
篠崎 尚史	日光アカデミー代表取締役	委員	委員	
大島 一博	元厚生労働省事務次官		アドバイザー	
松尾 泰樹	木原記念横浜生命科学振興財団理事長		アドバイザー	
竹内 一郎	名古屋大学大学院工学研究科 教授	委員		①委員長
白松 俊	名古屋工業大学教授			①委員
白川 展之	新潟大学准教授			①委員
飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長	委員		②委員長
藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所副所長			②委員
室山 哲也	元NHK解説主幹/ 日本科学技術ジャーナリスト会議会長	委員		③委員長
近藤 和泉	元国立長寿医療研究センター病院長			③副委員長
飯野 奈津子	医療福祉ジャーナリスト			③委員
長谷川 泰久	名古屋大学未来社会創造機構			③委員
加藤 昇平	名古屋工業大学 教授			③委員
長岡 輝	株式会社MIXI			③委員
伊藤 秀樹	株式会社エクシング XING INC			③委員

(2)長寿科学関連国際学会派遣事業

3,230,000円 / 3,046,178円

長寿科学研究に携わる若手研究者の育成を目的に、優れた研究成果をあげた若手研究者又は有望な研究を行う若手研究者に、海外で開催される長寿科学に関連する学会に参加する費用を助成します。1人20万円 10人程度 年間2回公募

■下半期派遣公募 5月1日(木)～7月31日(木)

8月18日(月) 審査委員会開催(KKRホテル東京) 11名の応募 採択7名

■令和8年度全期分公募 11月1日(土)～令和8年1月10日(土)

2月13日(金)審査委員会開催(KKRホテル東京) 17名の応募 採択10名

長寿科学関連国際学会派遣事業 審査委員会委員

委員長	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター 理事長
副委員長	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター 理事長 兼 センター長
委員	李 相侖	社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター 研究部長
委員	石神 昭人	東京都健康長寿医療センター研究所 副所長
委員	上田 貴之	東京歯科大学 老年歯科補綴学講座 教授
委員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部長
委員	真田 弘美	石川県立看護大学 学長

(3)若手研究者表彰事業

7,469,000円 / 7,287,040円

長寿科学研究に携わる若手研究者の研究活動を幅広く支援することにより若手研究者の育成と長寿科学の振興を図ることを目的として、優れた研究成果をあげた研究者を選考のうえ、「長寿科学賞」を贈呈するとともに、副賞として100万円の研究助成金交付をおこないました。

日本老年学会を構成する7学会に依頼し、各学会から選考・推薦された若手研究者を表彰しました。



■6月27日(金) 第34回日本老年学会総会 第3会場(千葉県幕張) 所属は当時

所属学会(選考・推薦)	氏名	所属
日本老年医学会	田中 友規(38歳)	東京大学 特任講師
日本老年社会科学会	中川 威(40歳)	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授
日本基礎老化学会	小林 正樹(38歳)	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 講師
日本老年歯科医学会	豆野 智昭(36歳)	大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座 助教
日本ケアマネジメント学会	畑 亮輔(41歳)	北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授
日本老年看護学会	山口 裕子(35歳)	トヨタ自動車株式会社 先進プロジェクト推進部
日本老年薬学会	浜田 将太(42歳)	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 担当部長

●令和8年度の「長寿科学賞」表彰候補者の推薦依頼をしました。

令和7年7月14日付 長科第27号

理事長 大島伸一 名にて日本老年学会理事長及び日本老年学会構成学会の長あてに「長寿科学賞」候補者の推薦依頼をしました。

(1) 機関誌の配信事業

15,815,000円 / 14,326,259円

WEB版機関誌「Aging&Health(エイジングアンドヘルス)」を財団HPと健康長寿ネットに年4回(春・夏・秋・冬)掲載・配信します。113号~116号配信しました。(広報委員会審議選定)

113号~116号 表紙と内容



- 特集：高齢者のデジタルデバイド解消プロジェクト
- インタビュー：古民家再生建築家 降幡廣信
- 地域の鼓動：東京都三鷹市 NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹 シニアの知恵と経験、デジタル力で地域を元気に！
山形県山形市 楽しみながらポイントをためて健康になる～山形市健康ポイント事業SUKSK～
- 理事長対談：対談者 長谷川敏彦（一般社団法人未来医療研究機構代表理事）



- 特集：貢献寿命の延伸
- インタビュー：スピードスケートギネス記録保持者 丸茂伊一
- 地域の鼓動：千葉県柏市 一般社団法人セカンドライフファクトリー 知と交流で築くアクティブシニアの居場所
秋田県藤里町 藤里町社会福祉協議会 町民すべてが生涯現役を目指す～支援される側も担い手に～
- 理事長対談：対談者 長谷川敏彦（一般社団法人未来医療研究機構代表理事）



- 特集：認知症施策推進基本計画とこれからの認知症施策
- インタビュー：アイヌ文化伝承者・古布絵作家 宇梶静江
- 地域の鼓動：岩手県滝沢市 NPO法人やまぼうしネットワーク スローショッピングで認知症の人に買い物の喜びを
神奈川県横浜市 株式会社リカバリータイムズ ショッピングリハビリ®でこころも体も元気に
- 理事長対談：対談者 大内尉義（国家公務員共済組合連合会虎の門病院名誉院長）



- 特集：高齢者総合機能評価 (CGA) に基づく診療・ケア
- インタビュー：一般社団法人「日本で・あーて、TE・ARTE、推進協会」代表理事 川嶋みどり
- 地域の鼓動：神奈川県川崎市 一般社団法人プラスケア 「暮らしの保健室かわさき」いつでも誰かとつながれる安心の居場所
長野県軽井沢町 ほっちのロッヂ ケアが循環するまちの拠点
- 理事長対談：対談者 辻 哲夫（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会理事長）

主なコンテンツ

●健康長寿とは:自分でできる健康長寿のための情報について

●高齢者の病気:高齢者に多い病気・症状について

●高齢者を支える制度とサービス:介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介

●インタビュー・対談・特集・研究情報:機関誌で取り上げた記事を紹介

●エッセイ:機関誌で取り上げたエッセイに加え、健康長寿ネットだけの井口昭久先生と宮子あずさ先生の連載エッセイを掲載

■メールマガジンの発行（年12回・随時臨時号）

現在:18,066名の登録(3/31現在)

■ホームページ関連委託

運用保守業務委託

品質検証等支援業務委託

アクセシビリティの規格 WCAG 2.0(JIS X8341-3:2016)「適合レベル AA」 準拠



掲載内容と記事数（令和8年3月末）

項目	内容	記事数
健康長寿とは	「高齢者の食事摂取基準」「運動器の老化」「日本人はなぜ長生きか」「高齢者の生きがい」など 自分でできる健康長寿のための情報を紹介	382
高齢者の病気	「サルコペニアとは」「フレイルとは」「老年症候群」「認知症」「肺炎」など 高齢者に多い病気・症状をわかりやすく解説	423
高齢者を支える制度とサービス	「認知症高齢者の日常生活自立度」「地域包括支援センター」「地域密着型サービス」など 介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介	181
対談・特集・研究情報	財団機関誌「Aging & Health」から対談・特集・研究情報を転載掲載および事務局企画による特集記事を掲載	494
エッセイ	井口昭久先生のエッセイ「老いをみるまなざし」、宮子あずさ先生「訪問看護師から老いをみると」他、財団機関誌「Aging & Health」からエッセイを転載	286
インタビュー	財団機関誌「Aging & Health」から「いつも元気、いまま現役」を転載	42
介護予防のための生活機能チェック	介護保険法による「基本チェックリスト」に基づく、介護予防のための生活機能チェック(25問)をインターネット上で提供	39
合計		1,847

健康長寿ネットの著作物等の引用転載(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

健康長寿ネットからの利用申請件数: 24件

引用転載 (授業目的公衆補償金) 2件 210,975円

広報委員会の開催

機関誌、健康長寿ネット等、財団広報について審議をする広報委員会を設置。
公益目的事業2【情報提供事業】に関する要な事項を定める委員会

- 第1回 9月4日(木)開催(アルカディア市ヶ谷+WEB)
 - ・機関誌「Aging&Health」「テーマ・候補者」選定等 117・118号
- 第2回 11月26日(水)開催予定(アルカディア市ヶ谷+WEB)
 - ・機関誌「Aging&Health」「テーマ・候補者」選定等 119・120号
- 第3回 2月2日(月)開催(KKRホテル東京+WEB)
 - ・健康長寿ネットの古い記事のリライト、HPのリニューアルなど審議
 - ・国立長寿医療研究センター荒井理事長(オブザーバー参加)

■「健康長寿ネット」は、平成17年の開設以来、高齢者やその家族、専門職の方々に広く利用されています。しかしながら、掲載されている記事の多くが作成から20年近く経過しており、最新の知見に基づいた抜本的な見直しの時期を迎えています。

広報委員会(井藤英喜委員長)は、国立長寿医療研究センター及び東京都健康長寿医療センター等と連携し、健康長寿ネットとHPの全面的なリニューアルを進めることとしました。

●928記事について、リライトするための国立長寿医療研究センター内にワーキンググループ設置

項目	内容	記事数
健康長寿とは	「高齢者の食事摂取基準」「運動器の老化」「日本人はなぜ長生きか」「高齢者の生きがい」など 自分でできる健康長寿のための情報を紹介	382 ※
高齢者の病気	「サルコペニアとは」「フレイルとは」「老年症候群」「認知症」「肺炎」など 高齢者に多い病気・症状をわかりやすく解説	423 ※
高齢者を支える制度とサービス	「認知症高齢者の日常生活自立度」「地域包括支援センター」「地域密着型サービス」など 介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介	123 ※
	元気な地域あれこれ	58

※合計928

広報委員会委員

委員長	井藤 英喜	東京都健康長寿医療センター 名誉理事長
副委員長	鳥羽 研二	東京都健康長寿医療センター 名誉理事長
委員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
委員	飯野 奈津子	医療福祉ジャーナリスト
委員	櫻井 孝	国立長寿医療研究センター 研究所長
委員	佐藤 眞一	大阪大学 名誉教授
委員	柳澤 信夫	全日本労働福祉協会 会長

(3) 長寿科学研究普及事業

4,230,000円 / 4,001,580円

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを定め長寿科学研究に関する国際シンポジウムを開催。

● 第20回長寿医療研究センター国際シンポジウム

日程：令和8年1月12日(月・祝)開催(オンデマンド) 名古屋国際センター

テーマ：「Importance of Nutritional Management in Geriatric Healthcare」

高齢者医療における栄養管理の重要性



法人

法人の運営体制の充実を図るための取組

● 令和7年度より「公益法人制度」の改正

社会変化に柔軟・迅速に対応し、より効果的な公益活動を行うため、自律的な経営判断が尊重されるとともに、透明性が高く信頼性が高い仕組みに見直されました。

財政規律の柔軟化・明確化

- 収支相償から中期的収支均衡
- 公益充実資金の創設
- 不測の事態に備える「予備財産」

自律的ガバナンスの充実・透明性の向上

機動的な法人運営のための自主的かつ自律的なガバナンスの充実を図る

【取組み】

- 役員、評議員は外部の有識者によって構成
- メンタルヘルス不調による復職支援マニュアル策定の準備